



ミス日本ニュース8月号

ミス日本コンテスト事務局 毎月1回配信
新しい公式WEB⇒ <http://www.missnippon.jp>

50th

MISS NIPPON



Japan.
Committed
to SDGs

第51回大会のファイナリスト次々決定！



8/27 来年1月に開催される第51回ミス日本コンテスト2019に出場するファイナリストが、各地区で選ばれています！ファイナリストは10月から「内面・外見・行動の3つの美を育む勉強会」にて、さらに磨きをかけていきます。選出された今よりも、1月の大会当日に数段上の輝きを放てるように、共に助け合い励ましあい、成長を果たしてまいります！

東日本地区代表8名

度會亜衣子 20歳	東京大学2年
谷桃子 22歳	慶應義塾大学4年
藤本麗華 25歳	ダンス講師
西尾菜々美 21歳	青山学院大学3年
高橋梨子 19歳	東京大学1年
飯島優香 19歳	大学2年
工藤みゆき 25歳	会社員
松尾美幸 23歳	東洋英和女学院大学4年

西日本地区代表2名

小西夏貴 26歳	薬剤師
八鳥円香 23歳	会社員

九州地区代表1名

中村有沙 20歳	福岡県立大学3年
----------	----------



ミス日本ドキュメンタリー映画 夢こそはあなたの生きる未来 劇場公開日決定！



2018年12/15～	ココロフ・動かす・映画館○
2019年1/26～2/1	シアタス調布
2019年2月～	横浜シネマ・ジャック&ベティ。

製作:ガチンコフィルム、監督:小野篤史、製作総指揮:飯塚冬酒
足掛け3年、500時間以上の映像素材から作られたミス日本のドキュメンタリー映画です。いよいよ年末に劇場公開が発表されました。楽しみに待っていてくださいませ！



8/28,29 ジャパンジュエリーフェアにミス日本グランプリの市橋が登場。「二十歳の真珠」をキーワードに、真珠のアクセサリを身につけて、どんな場面でも使いやすいことをアピール。会場内では豪華な宝石の数々を身に付け、夢のようなひと時をすごしました。



8/24 北海道建青会の会員大会で総合司会を務める浦底。鹿児島訛りも愛嬌。



8/1 水を考える集いにて、表彰式に登場。今年の夏は豪雨や台風など、水に関する大きな災害が際立って見える夏でした。



8/22 佐賀県にて公演する浦底。水の水の美しさを守る人々がいる。彼らの活躍のおかげで普通の生活があることなどをお話しました。



8/14 億万長者になるのは果たしてできるのか?!サマージャンボ宝くじの抽選会立会人に、ミス「海の日」山田。



8/22 島国日本の自慢はシーフード!シーフードショーは海の恵みを感じるには、もってこいの大人気イベントです!



8/25 岡山県の日生にて、里海生誕20周年記念シンポ。全国から優れた里海の取り組みが紹介。司会進行しながら、里海の豊かさを感じとる。



8/11 開山1300年を記念して、鳥取県の大山で行われた山の日全国大会。竹川は式典登場のあと、鳥取のキャラクター「トリピー」の帽子をかぶってイベント応援!山とみどりに囲まれた一日。



8/25 埼玉県木材協会のふれあい祭。地元の子供たちのために木材市場のそこかしこで木をテーマにしたゲームが登場。ジャングルジムを作るゲームでは幼児がヘルメットをかぶり、一生懸命ハンマーで打ち付けるかわいらしい場面も。夏休みのこどもの笑顔と嬌声が、元気な街であることを示しました。



8/4 神奈川の子供たちがおおはしゃぎで水源林に親しむ「やどりぎ水源林の森」にみどりの女神竹川。河の生き物を探したり、はっぱの笛で遊んだり、夏休みを利用して、子供たちが生物多様性やみどりの親しみを深めるイベントをサポートしました!



8/3 国土交通大臣・水資源功労者表彰式にて、受賞者の取り組みを伺い、祝福。



8/31 総理官邸で行われた海洋立国推進功労者表彰式には16年度の杉浦琴乃さん。



8/3,4 毎年恒例の震災復興祈願の東北1000キロ銃弾リレー。今年はミス日本グランプリ市橋がいわきエリアを担当。市民の皆さんとタスキをつなぎました。

8/9 京王プラザのボランティアプラザイベントでは、盲導犬や手話、献血や骨髄バンク登録など、あたたかい社会のために必要な取り組みがいくつも紹介。ミス日本も各ブースを応援したりお手伝いしました。



8/11 来年のみなかみポスター撮影に臨む浦底里沙。



8/28 燃料協会表敬では炭のお勉強。違いや特徴など奥深い炭の世界に、備長炭のメッカである和歌山県出身の竹川は夢中でした。



8/28 全国の緑化推進団体連絡会議にみどりの女神竹川。いつも支えてくださってありがとうございます！

★8月の活動★

- 1日 平成30年度「水の日」記念行事 水を考える集い /浦底
- 3日 国土交通省 水資源功労者表彰式 出席 /浦底
- 3,4日 未来への道 1000km縦断リレー
ゲストランナー(いわき) /市橋
- 4日 やどりぎ水源林のつどい 司会 /竹川
- 9日 京王プラザ ボランティアプラザ 協力/市橋,浦底,山田,岡部
- 11日 第3回「山の日」記念全国大会in鳥取 出演 /竹川
2019みなかみポスター 撮影 /浦底
山の日記念イベントin川場村 /17野中
- 14日 みずほ銀行 サマージャンボ宝くじ抽選会 立会人/山田
- 20日 第51回ミス日本コンテスト2019 九州地区大会
- 22日 ジャパン・インターナショナル・シーフードショー /山田
水じゅんかんフェア 守ろう！さがん水 講演/浦底
- 24日 第33回北海道建青会 全道会員大会 出演/浦底
- 25日 埼玉県木材協会 木とのふれあい祭 北浜市場 ゲスト/竹川
里海生誕20周年記念シンポジウム /山田
- 26日 第51回ミス日本コンテスト2019 西日本地区大会
- 27日 第51回ミス日本コンテスト2019 東日本地区大会
- 28日 全国県緑化推進団体連絡会議 出席/竹川
表敬訪問 全国燃料協会 /竹川
- 28,29日 ジャパンジュエリーフェア2018 ゲスト /市橋
- 31日 海洋立国推進功労者表彰式 /16杉浦

2018BBMベースボールカード 2ndバージョン
8月10日発売 始球式カード/市橋

★9月の予定(調整中や予定含む)★

- 7日 第51回ミス日本コンテスト2019 東海地区大会
- 8日と11日 第51回ミス日本コンテスト2019 全国最終補選
- 9日 近代消防社 防災対談取材(神奈川防災フェア) /浦底
- 10日 循環のみち下水道賞 表彰式 /浦底
- 12日 水循環基本法フォローアップ委員会 出席/浦底
- 11-14日 香港ジュエリーアンドジエムフェア2018 出演/市橋
- 15日 第70回全国植樹祭2019愛知 1年前イベント/市橋,竹川
- 15-17日 Social Innovators EXPO for 2025 司会出演
/15日山田, 16日竹川, 17日市橋
- 16日 愛知県一宮市「一宮一豊祭」特別ゲスト/市橋
- 17日 IWA世界会議「世界の水問題と日本の水事情」トーク/浦底
- 18日 スポーツニッポンフォーラム ゲスト/浦底,岡部
- 18,19日 車両系木材伐出機械 操縦運転特別講習 /竹川
- 19-27日 美JAPON・ユネスコ パリ公演 Beyond Kimonoはごろも
ファッションモデル / 市橋,浦底,岡部,17三上
- 20,21日 ツーリズムEXPOジャパン 広報アンバサダー出演 /竹川
- 24日 5団体連携地方シンポジウム 出演/竹川
- 25日 週刊女性 ミス日本東日本地区大会 結果記事掲載
- 26,27日 下水道管更生技術施行展 /浦底
- 28,29日 下水道施設管理業協会 出前講座/浦底
- 30日 快適生活 下水道フォーラム2018 /浦底
- 28-30日 ミス日本「海の日」副賞 飛鳥Ⅱ文楽クルーズ/山田



OGの履歴書 谷中麻里衣さん

2011年度ミス日本グランプリ。
受賞当時は20歳で慶應義塾大学法学部法律学科在学中。
TOEIC満点・英検1級（日本英語検定協会賞受賞）など英語力で話題に。
その後フリーアナウンサーとなり、日本テレビ「シューイチ」、
TBS「ビジネスクリック」、経済専門チャンネル「日経CNBC」等出演。
現在はNHK World（NHKの国際放送）にて英語で経済についてレポート。

---応募の動機を教えてください。

幼少期を海外で過ごしたことにより、日本への興味や関心、誇りが人一倍ありました。自国のことをより詳しく知りたいと思っていたタイミングで、ミス日本のことを知り、「これだ！」と。勉強会の種類が豊富で、受賞できなくとも成長の機会に恵まれることが魅力だと感じ応募しました。

実際にミス日本の候補者、そして受賞者となり、よりこのコンテストを好きになりました。学びの提供やひとりひとりにあわせた的確な助言は、私たちのことを心から考えてくださっているからこそだと感じています。

---コンテスト当日はどうでしたか。

舞台の上で脚が震えていたのを今でも鮮明に覚えています。ですが、勉強会から、自身を磨き、その過程に自信を持つことの大切さを学びました。すべての勉強会に出席し、最善を尽くしたという自負が支えとなり、素を出せました。

特に印象的だったのは「宝くじが当たったら、どのように使うか」という質問。「寄付」「親孝行」というこたえが多い中、「自分がよく見えるこたえ」ではなく「等身大の自分のこたえ」を探しました。結果、「秘密にします」と言い、会場中に笑いが。「なぜなら、自己投資するにせよ、親孝行するにせよ、寄付するにせよ、お金をあてにした人間関係はいらないからです」とこたえました。

受賞後に、率直で人柄が出ていたと褒めていただきました。とはいえ、素敵な候補者が数多いので、私がグランプリでいいのかという不安はありました。その気持ちを、ふとミス日本の同期たちにもらってしまったら、「そんなことない！まりえちゃんのここがすごいよ」と口々に言ってくれました。彼女たちと接すると、素敵な人は他人の良いところを見る傾向にあると痛感します。自慢の同期は、今でも仲良しな友人であるとともに、私の目標でもあります。



---受賞後のことを教えてください。

活動をはじめてすぐに東日本大震災がありました。予定していた活動の多くはなくなってしまい、2011年度はボランティア活動が中心となりました。他の年度のような華やかさには欠けましたが、思いやりや自他相愛など、日本人の精神性の素晴らしさにふれられた貴重な経験です。

「ミス日本」という肩書のプレッシャーもありました。常に人に見られていることを意識しすぎて、メイクを頑張りすぎたのは、今では大きな反省点です。内面をしっかりと磨いてこそ自信や知性が身につくこと、そして嬉しい副産物として外見の魅力に繋がることを学びました。今も人前に出るお仕事していますが、内容をより精査し、わかりやすく伝えることを心掛けています。

---近況を教えてください。

今は英語放送で経済の話をしています。世の中で起こっていることを株価や為替を通して反応が見られて、とても面白いです。自分で原稿も書くので、やりがいを感じています。単発での司会やテレビ出演のお仕事もしており、8月は日本テレビ「ウェークアップ！ぷらす」で英語インタビューをしました。

また、着物好きがきっかけで簪を作っているのですが、最近「簪まりえ」名義で販売をはじめました。日本の和装好きが増えたらいいなと思いながら、お客様のもとに届けています。



プライベートでは、8月の夏休みに14年度ミス日本の白田美咲さんとイタリアへ！ミス日本を通して、一生大切にしたい友人がたくさんできました。4月までは、私にたくさんの素敵な経験や友人をくれたコンテストに恩返しがしたくて、ミス日本の50周年パーティーの実行委員もつとめ、ファッションショーの運営をしました。ミス日本は任期後も貴重な経験が多くて、以前はミス日本ボランティア協会の代表も務めました。同期の新井寿枝さんが立ち上げた団体で、ずっと各年代のミス日本が引き継いでいます。最近、私が企画・運営した児童養護施設にいる子供たちのための七五三ボランティアを再び立ち上げたいと後輩から相談を受け、嬉しかったです！



Instagram・Twitter @ marieyanaka
簪まりえInstagram @kanzashi_marie